

令和5年9月定例会一般質問

通告1

質問 公共施設等に冷房設備を

答弁 必要性と優先度を判断し検討してまいります

3番 あべ たかひろ 阿部 隆弘 議員

【質問：阿部 隆弘 議員】

3番、阿部隆弘でございます。公共施設等の冷房設備について御質問いたします。

この質問をしようと思いましたが、町民の方からの一言でございました。この暑さは異常ですね。でも、地球温暖化で通常になってしまうのかなど。役場は冷房がないので、こんなに暑かったら職員も大変だね。来場者のためにもエアコン等の冷房設備を付けてあげることは出来ないんですかね。という内容でございました。仕事の効率への配慮も、それから来場者への熱中症の対策としても重要なことだと感じました。役場庁舎、支所、町有会館、学校施設、社会教育施設等は指定緊急避難所等に指定されており、冬の暖房対策はもちろん、この気象変動により夏の熱中症対策として、冷房設備の設置は必要ではないでしょうか。保育所、児童館、保健センター等の対応は十分でしょうか。学校においては、臨時休校等の対応は実施しておりますが、幼児児童生徒の熱中症対策は急務と考えます。簡易な冷房設備も含め、民営の町内会館等への冷房対応なども、この気象変動に対応した設備が必要です。民間の避難所への冷房設備についても行っていくことが重要と考えます。

現在の公共施設での冷房設備の整備状況を把握して、早急に整備を進めるべきと考えますが、町長の見解をお聞かせください。

【答弁：町長】

阿部議員御質問の、公共施設等の冷房設備について御答弁申し上げます。

9月1日に気象庁から、この夏の平均気温が観測史上最高になったとの発表があったところですが、この記録的高温は偏西風の一種である亜熱帯ジェット気流が、平年より北に蛇行したことなどが主因であるとのことであり、本町におきましても最高気温が30度を



超える真夏日が17日を数えるなど、記録的な暑さになりました。この状況が毎年継続するかは見通せないところでありますが、長期的な気温変化の傾向を見ますと、今後も気温が上昇していくものと予想されております。

議員御指摘のとおり、この暑さの影響は公共施設の利用者にも及んでいることは認識しております。御質問の公共施設については、役場庁舎をはじめ、冷房施設を有する施設はあるものの、施設内の一部に限定した設置となっております。全館を賄う設備を有する施設はない状況であります。

そのような中、各施設においては扇風機の活用、また、冷房設備のある施設では、設備のある部屋から冷気を流す工夫などにより、暑さ対策をしているところですが、今年においては防災用機材として保管しておりました、ポータブルクーラーを熱中症のリスクが高い子どもが利用する児童館で活用するなどの対応もとったところであります。今後も予想される異常な暑さに対し、公共施設における冷房設備の必要性を認識しているところでありますが、設置費用の面からも、その導入に当たっては各施設の利用状況などを踏まえ、優先順位を検討する必要があると考えております。具体的には施設の利用者層や利用頻度、施設内における効果的な設置スペースなどを踏まえ、必要性と優先度を判断した上で、今後の猛暑に備えるための検討を進めてまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。